

問題【英語】

日本語文の下線部を英語にするとき、かっこ内の適切な方の単語を選びましょう。

(1) この本は面白い。

This book is (interesting / interested).

(2) 私はそのニュースに驚いた。

I was (surprising / surprised) at the news.

(3) 私はその試合にワクワクした。

The game was (exciting / excited) for me.

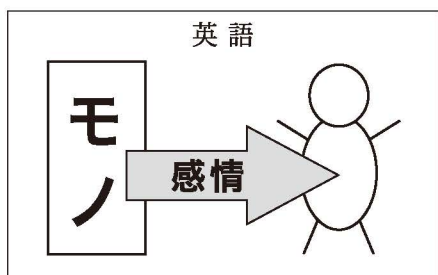
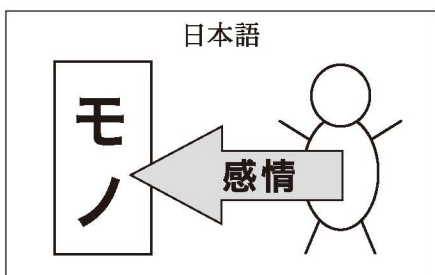
(4) 私はその試合にワクワクした。

I was (exciting / excited) about the game.

豆知識 雑学コラム

英語での感情のとらえ方

(3) と (4) は同じ日本語文を使いましたが、答えは異なります。いったいなぜでしょう？ 実は、日本語と英語では、感情のとらえ方が異なります。下の図を見てください。



日本語では感情は自分が対象に向かって抱くものと考えています。そのため、「私はその試合にワクワクした」という書き方をします。一方で、英語では感情は外から与えられるものと考えています。そのため、「その試合は私をワクワクさせた」と表現するのです。

こういった感情の考え方は、元々の動詞の意味を調べてみるとよくわかります。たとえばexciteという動詞は「興奮させる」という意味ですし、surpriseという動詞も「驚かす」という意味です。どちらの動詞の意味も、「～させる」という形になっていますね。

では、(2) や (4) のように私を主語として感情を表現したいときには、どうすればよいでしょう？ (4) の日本語を書き換えると「私はその試合にワクワクさせられた」となります。「される」という日本語が出てきたということは、受け身の文にする、ということですね。今まで私たちが何気なく使っていた感情を表す文は、実は受け身の文だったのです。

ここまで動詞が由来の感情を表す言葉をみてきました。動詞が由来ではない感情を表す言葉もglad(うれしい)、happy(幸せだ)、sad(悲しい)などたくさんあります。しかし、英作文などをするときには圧倒的に間違いが多いのが、動詞が由来のものです。こういったものは

- ・モノが主語なら～ing (～させる)
- ・人が主語なら～ed (～させられる=～する)

を使います。英語の感情のとらえ方と共に覚えましょう。

【解答】

(1) interesting (2) surprised (3) exciting (4) excited